

中期の下水道政策の実効性確保に関する論点整理について

中期構想、行動計画の策定

地域における構想、計画の策定

- ・ 財政的制約や人口減少・少子高齢化など、今後も社会経済情勢は厳しくかつ不透明な状況
- ・ 本提言で示した中期（10年）の下水道政策を効果的かつ実効性あるものにするためには、それぞれの施策を全国一律、一斉に取り組むのではなく、下水道整備の現状、既存ストックや地域の実情を踏まえ、地域の自主性を活かした取り組みを推進することが重要
- ・ このため、地方公共団体においては、「下水道ビジョン2100」や本提言を踏まえ、地域の将来像の実現に向け必要な下水道施策を選択したうえで、施策展開の方針を検討し、中期の構想として「下水道中期ビジョン」を策定
- ・ 更に、下水道中期ビジョンに定められた施策を実行に移すための行動計画として「下水道アクションプログラム」を策定
- ・ その際、地域の将来像を実現するためには、下水道のみで対応するのではなく、他事業と連携しつつ、事業者、住民等と協働した取り組みを行うことを基本

下水道中期ビジョン

策定目的

- ・ 事業者、住民等との対話のもと、下水道の効率的な整備と管理、安定的な経営を図るため、地域の将来像実現に向けて取り組むべき下水道施策を明示した、「下水道中期ビジョン」を定めることにより、地域の自主性を活かした計画的、段階的な下水道施策を進めることを目的とすること

計画期間

- ・ 次期社会資本整備重点計画の初年度である平成20年度から概ね10年間

策定主体

- ・ 下水道管理者である全ての地方公共団体は、例えば、「市下水道中期ビジョン」として、それぞれの中期ビジョンを策定
- ・ また、地方整備局等は、広域的な見地から、各地方公共団体の中期ビジョンをブロック単位で調整のうえ、例えば「地方下水道中期ビジョン」として、地方中期ビジョンを策定

記載事項

- ・ 取り組み方針（地域の将来像の実現に向けた下水道の考え方、等）
- ・ 具体的施策の内容（事業箇所、事業内容、等）
- ・ アウトカム目標（住民にわかりやすい目標像の提示、等）
- ・ 管理と経営に関する事項（中長期を見通したうえで、収入確保（使用料設定、接続促進）、支出削減（効率的な維持管理及び省エネルギー等）の考え方、等）

策定手順

- ・ 地域の実情とニーズの把握
- ・ 協議会の設置など住民参画による計画策定の場を設定
- ・ 多様な主体の参画のもと原案を作成
- ・ 原案をもとに関係機関と調整
- ・ パブリック・コメント手続等による意見聴取を経て成案策定、公表

留意事項

- ・ 住民、事業者等との対話により、他事業とも連携した総合的な施策とすること
- ・ ハード、ソフト、自助の一体的な施策とすること

下水道アクションプログラム

策定目的

- ・ 下水道中期ビジョンに定められた将来像を達成するため、ビジョンに定められた施策のうち、概ね5年間の計画期間中に実施する事業を抽出した上で、中長期的な

経営の視点を見据え、効率的かつ重点的な事業展開を図ることを目的にすること

計画期間

- ・ ビジョンの計画期間内の概ね5年間を対象とし、状況に応じ改定する。

策定主体

- ・ 下水道管理者である全ての地方公共団体が策定

記載事項

- ・ 計画期間中に実施する事業内容、事業箇所、事業規模、収支見通し、実施スケジュール 等

広域的な視点からの調整

- ・ 各地方公共団体が策定する下水道中期ビジョンの案については、地方整備局等が中心となって、広域的な水域における水質保全の実現など、広域的視点から必要な調整を実施
- ・ その際、関係部局が連携して、流域別下水道整備総合計画、都道府県構想など上位計画等も含めた整合性ある見直しを検討
- ・ 調整に当たっては、行政区域にとらわれず、流域等の単位で効果を検証し、わかりやすいアウトカム目標を設定
- ・ また、自然災害に対する安全の確保など、国家的見地から取り組むべき課題については、地方整備局を含めた国が技術的な助言、指導を実施
- ・ これらの調整結果を踏まえ、各地方公共団体は、必要な見直し等を行い、下水道中期ビジョンを策定し、地方整備局は、ブロック単位の地方下水道中期ビジョンを策定